

第3回仙台市議会議員の 通信簿

議会ウォッチャー・仙台

2019.7

第3回仙台市議会議員の通信簿

第1 本会議場での態度についての評価

1. 第3回通信簿の特徴

離席、居眠り、私語についての「議員通信簿」の発表も3回目を迎えた。

第1回では、「学級崩壊」とも言える状況が注目を浴び、第2回では、「私語（おしゃべり）」が減り議場が「静かになった」ことが、データから裏付けられた。

さて、第3回（対象は、平成27年第3回定例会から令和元年第2回定例会まで）ではどんな特徴が指摘できるのか（表1参照）。まず離席だが、第1回、第2回では離席数、離席率に著しい変化（減少）は見られなかったが、今回はまさに劇的と言うべき変化（減少）が見て取れる。前回は、離席数10、離席率10%を超えた議員は9人で最多は77と73.3%だったが、今回は2人だけで、しかも10台前半の低い数値に留まっているのである（頻度は10日に1回程度）。次に私語についてみると、第2回では確かに私語数、私語率とも大幅に減ったが（例えばワースト10位では、39→21、48.8%→20%）、今回の減り方は、これも劇的と表現するのが適当である。例えば赤間議員の私語数は49回から14回へ、私語率は46.7%から12.4%へと大幅に減少している（2日に1回から10日に1回程度へ）のである。私語数10、私語率10%超えは他に1人（田村議員）いるだけである。こうしてみると、離席と私語については大きく改善されたと評価してよいと思われる。次に居眠りであるが、居眠り率の減少は概ね20%程度に留まり（表1）、大きな変化（減少）がないことが分かる。次項で詳しく考察する。

2. 居眠りランキング

居眠り率ワースト1は鎌田城行議員。前回に続いてのワースト1入りである。居眠り回数は86回で、その率は76.1%。4会期日に3回の割合でお休みされていたことになる。この比率は前回と全く同じである。次いでやしろ美香議員

がほぼ同じ居眠り率（71.7%）でワースト2にランクされた。やしろ議員は2期目で議席は比較的議長席や執行部席に近いところにあるが、全く意に介していないようである。ワースト3、4には50%台で柳橋邦彦（7期）、野田讓（6期）のベテラン議員が続き、ワースト5には、前回8位だった相沢和紀議員（3期）が入った。以下、40～30%台で菊地昭一議員（5期）、田村稔議員（5期）、齋藤範夫議員（4期）、石川建治議員（5期）、柿沼敏万議員（7期）と比較的当選回数が多い議員が続く。この中で、齋藤範夫議員は前回と比べて回数も率も大幅に減らしているが、これは任期の後半に議長に就任したことが要因と思われる。こうした居眠り率の高い議員がいる一方、居眠り0議員は23名を数える。前々回（15人）、前回（19人）から着実に増えており、喜ばしい限りである。

3. 居眠り根絶のために

居眠り根絶のためには、何が必要であろうか。以下に3つの提案をしておきたい。

(1) 求められる議長の毅然たる態度

言うまでもないことだが、議員が議場に集うのは、議員の基本任務である議場での議論（討論）に参加するためである。そこで行われる質問や答弁に真摯に耳を傾けるのは、議論に参加することであり、議員の職務上の義務を果たすことでもある。その義務に反する行為、とりわけ居眠りは、議場の緊張感を失わせ、議会の品位を損ない、質問者や答弁者に対する非礼でもある。こうした立場から、私達は議長に対して「議場で堂々と居眠りしている議員をなぜ注意しないのか」との質問状を送付した（平成29年12月5日付）。これに対して議長からは「少なくとも、記載されている議員の行動が法令等に反するもので、議事の円滑な運営に支障を来したという認識はございません」「このような状況下においては、議員の行動を事務局職員にチェックさせ、注意する必要もないものと考えてお

ります」との回答があった（平成 30 年 1 月 9 日付）。居眠りという議事に集中しない行為が、「議事運営の支障」に当たらないというのである。こうした議長の態度が、居眠りの横行を許していると言うべきである。議長の毅然たる態度が求められている。

(2) 質問の質の向上

議場に緊張感をもたらすには、質問のレベルの向上が欠かせない。議場の誰もが耳を傾けるためには、代表質疑の内容の充実が必要であり、一般質問についてもより徹底した調査に基づく質問が求められている。

(3) 議場の前方からの撮影と放映を

傍聴席からの居眠りのチェックには限界がある。議員を後方から見るので、100%居眠りと判断するには大変な労力を必要とする。その結果を議員に問い合わせると、「わたしは居眠りしていない」との返事が返ってくることもある。市民がより正確に判断できるように、テレビカメラの議場前方からの撮影と放映を提案したい。多くの市民がわざわざ議場に出かけなくともチェックが可能となり、そのことによる抑止効果は計り知れないものがあると思われる。

※離席率、居眠り率、私語率について

それぞれの議員の離席、居眠り、私語がカウントされた定例会の会期日数を、定例会の全会期日数(113日)で割ったもの
例えば、A議員の居眠りとカウントされた会期日数が40の場合、A議員の居眠り率は35.4%となる

表1 第1回、第2回、第3回議場での態度ランキング比較

ワースト10(離席)

第1回					第2回				
No	議席番号	議員名	離席	離席率	No	議席番号	議員名	離席	離席率
1	51	岡征男(7)	51	63.8%	1	51	佐々木両道(8)	77	73.3%
2	50	佐々木両道(7)	45	56.3%	2	48	渡辺公一(7)	25	23.8%
3	58	大内久雄(10)	34	42.5%	3	42	菊地昭一(4)	22	21.0%
4	18	田村稔(3)	19	23.8%	4	50	柿沼敏万(6)	20	19.0%
4	44	笠原哲(8)	19	23.8%	5	49	高橋次男(4)	18	17.1%
6	53	渡辺公一(6)	18	22.5%	6	44	花木則彰(4)	16	15.2%
7	49	庄子晋(6)	17	21.3%	7	45	赤間次彦(6)	14	13.3%
7	59	小山勇朗(8)	17	21.3%	8	53	小山勇朗(7)	13	12.4%
8	47	八島幸三(5)	16	20.0%	9	34	野田譲(5)	11	10.5%
10	42	赤間次彦(5)	14	17.5%	10	47	鈴木繁雄(7)	9	8.6%
10	57	大泉鉄之助(9)	14	17.5%					

ワースト10(私語)

第1回					第2回				
No	議席番号	議員名	私語	私語率	No	議席番号	議員名	私語	私語率
1	56	鈴木繁雄(6)	68	85.0%	1	52	大泉鉄之助(10)	69	65.7%
2	57	大泉鉄之助(9)	67	83.8%	2	51	佐々木両道(8)	60	57.1%
3	50	佐々木両道(7)	65	81.3%	3	45	赤間次彦(6)	49	46.7%
4	51	岡征男(7)	59	73.8%	4	46	伊藤新治郎(6)	47	44.8%
5	59	小山勇朗(8)	57	71.3%	5	47	鈴木繁雄(7)	45	42.9%
6	43	伊藤新治郎(5)	48	60.0%	6	53	小山勇朗(7)	43	41.0%
7	60	福島かずえ(5)	46	57.5%	7	54	柳橋邦彦(6)	38	36.2%
8	41	佐藤正昭(5)	45	56.3%	8	24	田村稔(4)	35	33.3%
9	47	八島幸三(5)	42	52.5%	9	25	岡本あき子(4)	28	26.7%
10	54	斎藤建雄(6)	39	48.8%	10	34	野田譲(5)	21	20.0%

ワースト10(居眠り)

第1回					第2回					第3回				
No	議席番号	議員名	居眠り	居眠り率	No	議席番号	議員名	居眠り	居眠り率	No	議席番号	議員名	居眠り	
1	44	笠原哲(8)	65	81.3%	1	19	鎌田城行(3)	80	76.2%	1	30	鎌田城行(4)	86	
2	49	庄子晋(6)	62	77.5%	2	48	渡辺公一(7)	76	72.4%	2	20	やしる美香(2)	81	
3	39	郷湖健一(6)	60	75.0%	3	43	大槻正俊(5)	73	69.5%	3	49	柳橋邦彦(7)	58	
4	51	岡征男(7)	57	71.3%	3	47	鈴木繁雄(7)	73	69.5%	4	43	野田譲(6)	56	
5	53	渡辺公一(6)	55	68.8%	5	42	菊地昭一(4)	71	67.6%	5	14	相沢和紀(3)	54	
6	19	鎌田城行(2)	52	65.0%	6	23	斎藤範夫(3)	66	62.9%	6	50	菊地昭一(5)	49	
7	43	伊藤新治郎(5)	48	60.0%	7	54	柳橋邦彦(6)	63	60.0%	7	37	田村稔(5)	46	
8	58	大内久雄(10)	44	55.0%	8	20	相沢和紀(2)	56	53.3%	8	33	斎藤範夫(4)	42	
9	56	鈴木繁雄(8)	43	53.8%	9	38	木村勝好(6)	53	50.5%	9	25	石川建治(5)	41	
10	34	大槻正俊(4)	36	45.0%	10	53	小山勇朗(7)	52	49.5%	9	54	柿沼敏万(7)	41	
10	41	佐藤正昭(5)	36	45.0%										

第2 議員の質問内容の評価

1 評価対象

平成27年度第3回定例会から平成30年度第1回定例会までの合計11回の定例会の代表質疑と一般質問を評価対象とした（以下、「今回」）。

2 評価の基準

評価の基準は第1回（対象：平成19年第2回定例会から平成22年第2回定例会までの合計13回の定例会）、第2回（対象：平成23年第3回定例会から平成26年第4回定例会までの合計14回の定例会）と変わっていない。

優れた質問は、

- ①取り上げるテーマ、課題の現場に赴き調査する
- ②テーマ、課題に関する資料を情報公開請求やネット等で調べ、分析する
- ③調査、分析結果をもとに問題点等を部局の担当者へ問い質す
- ④視察も含めて他都市との比較調査を行う
- ⑤これらを通じて仙台市の抱える問題点を浮彫りにし、その解決の道筋を具体的かつ明快に示し、その実現を迫る

質問であるとの考えに基づき、以下の評価基準を採用している。

①事前・現場調査（4点）

- 0点：全くしていない
- 1点：事前調査を一応している
- 2点：事前調査・現場調査をしている
- 3点：2＋分析、評価もしている
- 4点：2＋分析、評価のやり方が優れている

②他都市との比較（2点）

- 0点：全くやっていない
- 1点：一応やっている
- 2点：よくやっている

③改善案（3点）

0点：全く無し

1点：一応提示している（問題点を具体的に指摘している場合も含む）

2点：具体的改善案が提示されている

3点：改善案の内容が優れている

3 今回の特徴

① 低得点の減少

第1回は対象外8名を除く47名中100点満点で平均点10点未満が3名を占めていた。第2回は平均点10点未満が19名（議長・副議長を除く）に減少し、今回（質問数に無関係）は2名となった。

② 高得点化

100点満点の平均点上位10名（質問数に無関係）の第1回、第2回、今回の比較は以下のとおりである。

第1回	第2回	今回
①31. 22	①29. 55	①55. 55
②26. 77	②28. 11	②54. 88
③20. 44	③24. 11	③42. 22
④18. 66	④22. 66	④41. 77
⑤17. 55	⑤22. 22	⑤40. 11
⑥17. 44	⑥22. 22	⑥40. 00
⑦16. 44	⑦21. 55	⑦39. 55
⑧15. 88	⑧21. 00	⑧38. 88
⑨15. 55	⑨20. 66	⑨37. 33
⑩14. 55	⑩20. 00	⑩36. 33

③ 平均点の上昇

第1回は100点満点で10点以上が14名にすぎなかったが、第2回は34名、今回（質問数に無関係）は51名と増えている。

④ 今回の平均点ランキング

質問数に無関係の平均点ランキングは表2のとおりである。

平均質問数26を参考に「規定打数」を質問数15以上にした場合の実質平均ランキング（途中辞職者を除く）は表3のとおりである。

⑤ これらの傾向の理由

上記①②③④の傾向は、A型、B型質問の減少と軌を一にしている。

私たちがA型質問と名付けた質問は

「事前に関連資料を情報公開請求で入手するか、担当部署の職員に確認すれば足りる質問」

私たちがB型質問と名付けた質問は

「当該課題（制度）の趣旨・意義，国と世論の動向，識者の指摘，市と所属会派の対応と現在までの経過等を解説し，それに質問者の抽象的私見を加え，当局の認識，所感，方針を問う質問」

である。

A型、B型質問は、本来の質問の対象を浮上させる機能を果たしているに過ぎない。質問の前提を確認したところで終了する質問は、登山で言えば、二合目で引き返しているようなものである。

なぜA型、B型の質問が横行しているのかといえば、質問者が課題について事前調査、現場調査、他都市との比較調査をしていないからである。調査不足のまま質問しようとするれば、自ずとA型、B型質問にならざるを得ない。A型、B型質問は代表質疑に多く見られる。

A型、B型の質問は、議会の緊張感を奪っている。熟睡議員の原因の一つもここにある。A型、B型質問は確実に減少しているが、消えるには至って

いない。

4 A型, B型質問を減少, 議員の緊張感の維持, 議会運営の効率化の観点からの提案

私達の提案内容は以下のとおりである。

- ① 定例会開会前に各会派から代表質疑事項を書面質問にして当局に提出し、回答を得る。
- ② 当局の回答は全議員に配布する。
- ③ 各会派は当局の回答を見て、議場で代表質疑, 一般質問を行う。

それによって次のような効果が期待できる。

- ① 重複質問を回避することができる。
- ② A型, B型質問は定例会前の書面質問で済ますことができ, 議場でのA型, B型質問を減少させることができる。
- ③ 議場での質問の読み上げ, 答弁の読み上げ時間を短縮することができる。
- ④ 議場でより深化した議論が期待できる。
- ⑤ 議場の緊張感を維持し, 居眠りを防止できる。

以 上

表2 平均点ランキング(質問数無関係)

順位	議員名	会派	質問数	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計	100点 満点	備考
1	高橋次男	自由民主党	10	21	6	23	50	55.55	質問数15未満
2	鎌田城行	公明党仙台市議団	19	36	17	41	94	54.88	
3	伊藤ゆうた	維新の党	20	25	15	36	76	42.22	辞職
4	西澤啓文	自由民主党	13	14	13	22	49	41.77	質問数15未満
5	嵯峨サダ子	日本共産党仙台市議団	36	54	12	64	130	40.11	
6	ふなやま由美	日本共産党仙台市議団	20	28	9	35	72	40.00	辞職
7	佐藤和子	公明党仙台市議団	37	52	19	61	132	39.55	
8	高見のり子	日本共産党仙台市議団	24	35	8	41	84	38.88	
9	佐藤わか子	アムニティー仙台	38	46	17	65	128	37.33	
10	すげの直子	日本共産党仙台市議団	22	27	7	38	72	36.33	
11	小田島久美子	公明党仙台市議団	21	28	6	34	68	35.88	
12	菅原正和	自由民主党	11	15	5	15	35	35.33	質問数15未満
13	ふるくぼ和子	日本共産党仙台市議団	17	18	7	28	53	34.55	
14	庄司あかり	日本共産党仙台市議団	19	24	5	29	58	33.88	
15	わたなべ拓	自由民主党	44	55	6	71	132	33.33	
16	加藤けんいち	市民フォーラム仙台	42	47	13	65	125	33.00	
17	相沢和紀	社民党仙台市議団	34	48	2	51	101	33.00	
18	石川建治	社民党仙台市議団	25	29	9	36	74	32.88	
19	沼沢しんや	市民フォーラム仙台	24	30	8	33	71	32.77	
20	村上千早	市民フォーラム仙台	40	42	15	58	115	31.88	
21	鈴木広康	公明党仙台市議団	28	29	8	42	79	31.33	
22	岡本あき子	市民フォーラム仙台	37	38	7	54	99	29.66	辞職
23	佐藤幸雄	公明党仙台市議団	28	23	15	36	74	29.33	
24	花木則彰	日本共産党仙台市議団	46	47	6	68	121	29.22	
25	松本由男	自由民主党	30	33	4	41	78	28.88	
26	渡辺敬信	市民フォーラム仙台	15	16	2	21	39	28.88	
27	ひぐちのりこ	社民党仙台市議団	42	47	10	51	108	28.55	
28	辻隆一	社民党仙台市議団	34	34	4	46	84	27.44	
29	佐々木真由美	公明党仙台市議団	30	28	9	36	73	27.00	
30	小山勇朗	社民党仙台市議団	24	27	2	28	57	26.33	
31	佐々木心	自由民主党	35	33	5	45	83	26.33	
32	平井みどり	市民フォーラム仙台	27	27	3	34	64	26.33	
33	鈴木勇治	自由民主党	17	14	1	25	40	26.11	
34	庄司俊充	自由民主党	19	20	3	21	44	25.66	
35	小野寺利裕	公明党仙台市議団	16	15	4	18	37	25.66	
36	高橋卓誠	自由民主党	28	22	7	33	62	24.55	
37	木村勝好	市民ファースト仙台	27	22	8	29	59	24.22	
38	菊地昭一	公明党仙台市議団	23	22	3	25	50	24.11	
39	佐藤正昭	自由民主党	16	10	5	19	34	23.55	
40	安孫子雅浩	市民ファースト仙台	18	16	1	21	38	23.44	
41	小野寺健	市民ファースト仙台	41	28	13	37	78	21.11	
42	跡部薫	自由民主党	16	10	2	15	27	18.66	
43	嶋中貴志	公明党仙台市議団	31	21	2	29	52	18.55	
44	斎藤範夫	自由民主党	23	15	1	20	36	17.33	
45	渡辺博	自由民主党	67	35	10	58	103	17.00	
46	やしる美香	自由民主党	65	39	7	53	99	16.88	
47	加藤和彦	自由民主党	19	11	0	13	24	14.00	
48	橋本啓一	自由民主党	37	12	6	25	43	12.88	
49	菊地崇良	自由民主党	35	16	0	24	40	12.66	
50	田村稔	アムニティー仙台	15	7	0	8	15	11.11	
51	野田譲	自由民主党	11	4	0	6	10	10.00	質問数15未満
52	柳橋邦彦	輝く仙台	21	4	1	10	15	7.88	
53	赤間次彦	自由民主党	34	6	2	9	17	5.55	

表3 実質平均点ランキング(質問数15以上の在職者)

順位	議員名	会派	質問数	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計	100点 満点	備考
1	鎌田城行	公明党仙台市議団	19	36	17	41	94	54.88	
2	嵯峨サダ子	日本共産党仙台市議団	36	54	12	64	130	40.11	
3	佐藤和子	公明党仙台市議団	37	52	19	61	132	39.55	
4	高見のり子	日本共産党仙台市議団	24	35	8	41	84	38.88	
5	佐藤わか子	アメニティー仙台	38	46	17	65	128	37.33	
6	すげの直子	日本共産党仙台市議団	22	27	7	38	72	36.33	
7	小田島久美子	公明党仙台市議団	21	28	6	34	68	35.88	
8	ふるくぼ和子	日本共産党仙台市議団	17	18	7	28	53	34.55	
9	庄司あかり	日本共産党仙台市議団	19	24	5	29	58	33.88	
10	わたなべ拓	自由民主党	44	55	6	71	132	33.33	
11	加藤けんいち	市民フォーラム仙台	42	47	13	65	125	33.00	
12	相沢和紀	社民党仙台市議団	34	48	2	51	101	33.00	
13	石川建治	社民党仙台市議団	25	29	9	36	74	32.88	
14	沼沢しんや	市民フォーラム仙台	24	30	8	33	71	32.77	
15	村上千早	市民フォーラム仙台	40	42	15	58	115	31.88	
16	鈴木広康	公明党仙台市議団	28	29	8	42	79	31.33	
17	佐藤幸雄	公明党仙台市議団	28	23	15	36	74	29.33	
18	花木則彰	日本共産党仙台市議団	46	47	6	68	121	29.22	
19	松本由男	自由民主党	30	33	4	41	78	28.88	
20	渡辺敬信	市民フォーラム仙台	15	16	2	21	39	28.88	
21	ひぐちのりこ	社民党仙台市議団	42	47	10	51	108	28.55	
22	辻隆一	社民党仙台市議団	34	34	4	46	84	27.44	
23	佐々木真由美	公明党仙台市議団	30	28	9	36	73	27.00	
24	小山勇朗	社民党仙台市議団	24	27	2	28	57	26.33	
25	佐々木心	自由民主党	35	33	5	45	83	26.33	
26	平井みどり	市民フォーラム仙台	27	27	3	34	64	26.33	
27	鈴木勇治	自由民主党	17	14	1	25	40	26.11	
28	庄司俊亮	自由民主党	19	20	3	21	44	25.66	
29	小野寺利裕	公明党仙台市議団	16	15	4	18	37	25.66	
30	高橋卓誠	自由民主党	28	22	7	33	62	24.55	
31	木村勝好	市民ファースト仙台	27	22	8	29	59	24.22	
32	菊地昭一	公明党仙台市議団	23	22	3	25	50	24.11	
33	佐藤正昭	自由民主党	16	10	5	19	34	23.55	
34	安孫子雅浩	市民ファースト仙台	18	16	1	21	38	23.44	
35	小野寺健	市民ファースト仙台	41	28	13	37	78	21.11	
36	跡部薫	自由民主党	16	10	2	15	27	18.66	
37	嶋中貴志	公明党仙台市議団	31	21	2	29	52	18.55	
38	斎藤範夫	自由民主党	23	15	1	20	36	17.33	
39	渡辺博	自由民主党	67	35	10	58	103	17.00	
40	やしろ美香	自由民主党	65	39	7	53	99	16.88	
41	加藤和彦	自由民主党	19	11	0	13	24	14.00	
42	橋本啓一	自由民主党	37	12	6	25	43	12.88	
43	菊地崇良	自由民主党	35	16	0	24	40	12.66	
44	田村稔	アメニティー仙台	15	7	0	8	15	11.11	
45	柳橋邦彦	輝く仙台	21	4	1	10	15	7.88	
46	赤間次彦	自由民主党	34	6	2	9	17	5.55	
	高橋次男	自由民主党	10	21	6	23	50	55.55	質問数15未満
	伊藤ゆうた	維新の党	20	25	15	36	76	42.22	辞職
	西澤啓文	自由民主党	13	14	13	22	49	41.77	質問数15未満
	ふなやま由美	日本共産党仙台市議団	20	28	9	35	72	40.00	辞職
	菅原正和	自由民主党	11	15	5	15	35	35.33	質問数15未満
	岡本あき子	市民フォーラム仙台	37	38	7	54	99	29.66	辞職
	野田譲	自由民主党	11	4	0	6	10	10.00	質問数15未満